

西遊記

下田惣太郎編輯

初編

特60

216

092169-001-2

特60-216

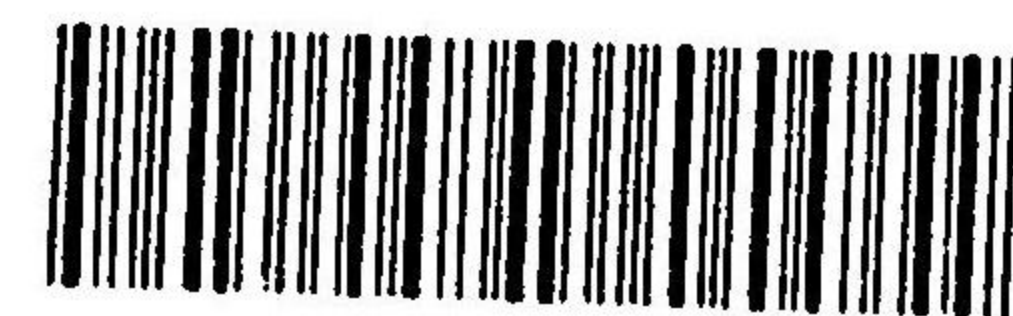
絵本西遊記

下田 惣太郎 / 編

初編

M18

DBP-1736





下田惣太郎編輯

西游記

全

東京書肆 隆湊堂梓

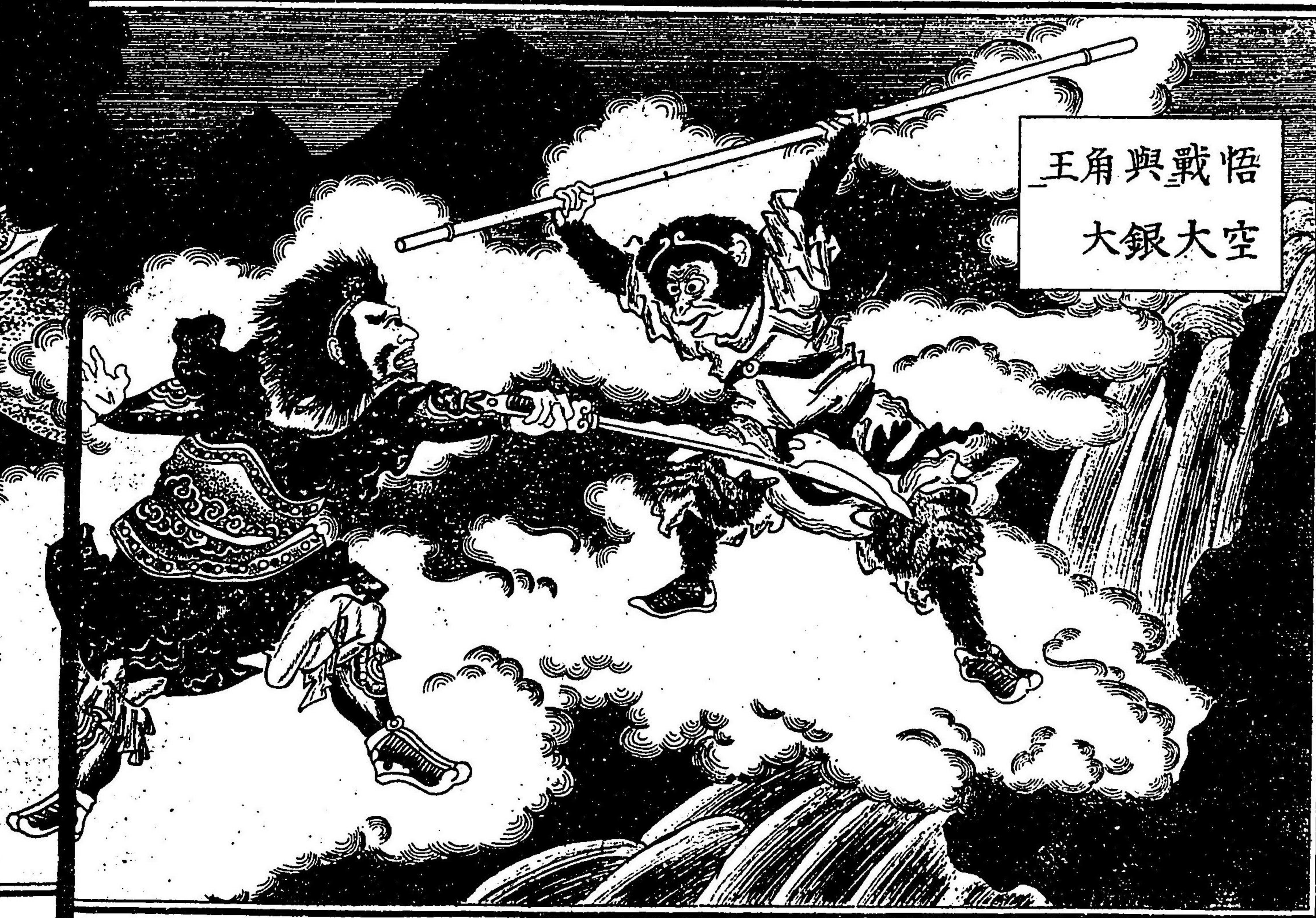
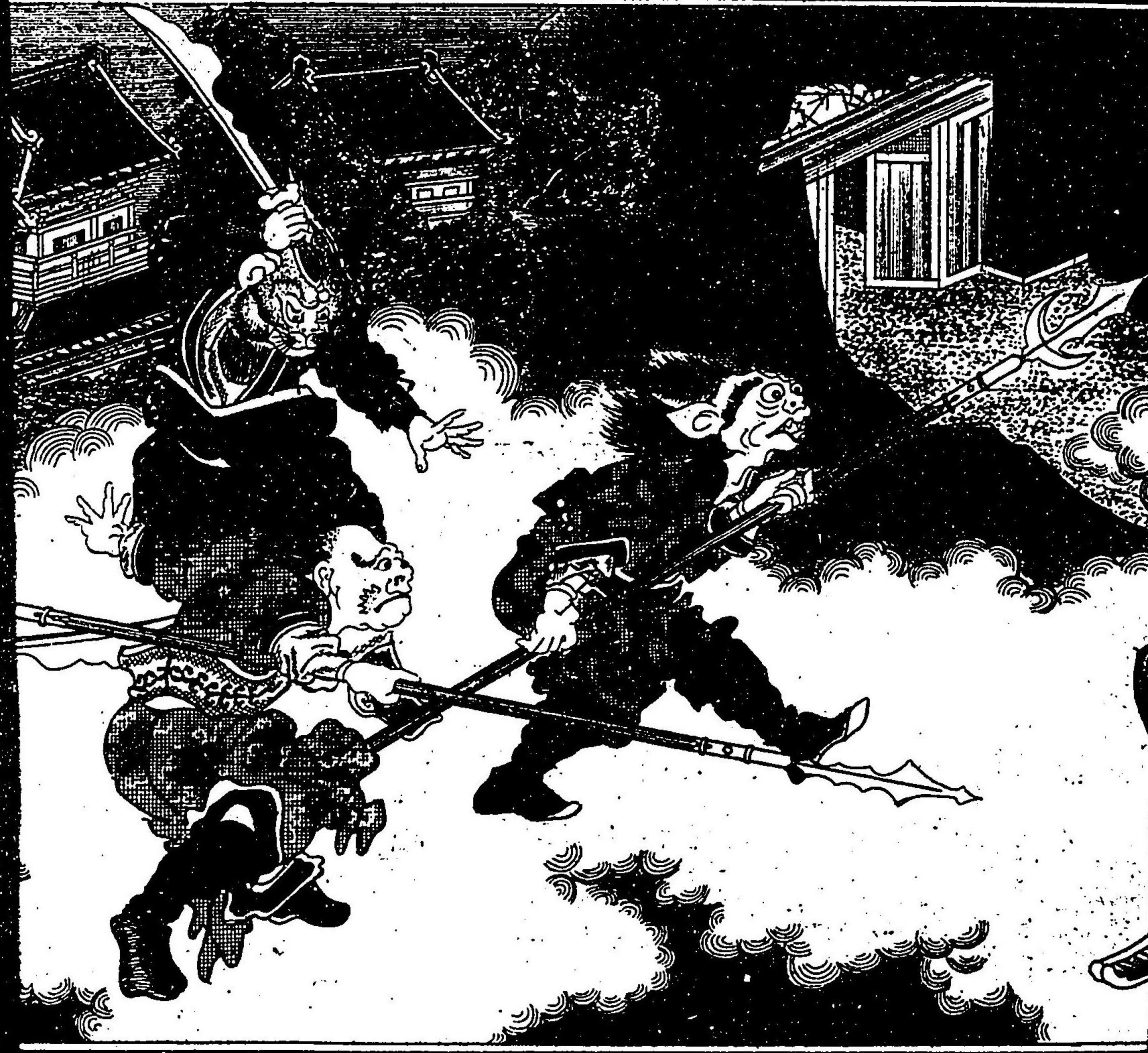
敘言

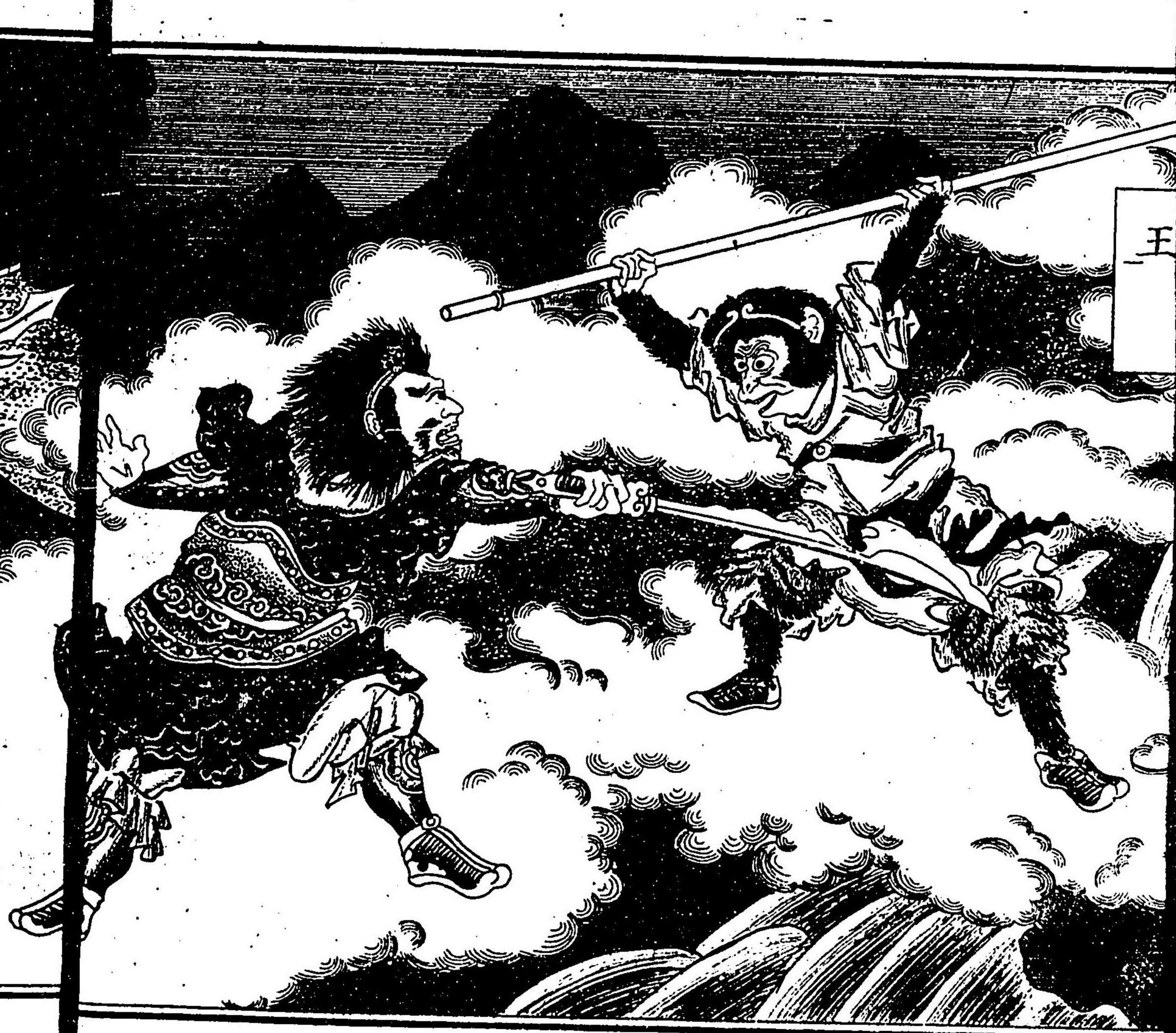
西遊記は、三藏を逢ふ教多此妖魔
 等、権得あると考せしむる神通自在の孫悟
 空、其の戒や又沙悟淨が守護あるを退
 行する事、意に於ては、其の所行に
 翻る自在に、鉄棒は、其の身と世に、塵
 土を、思得の積者、ちと石、標を、僧、標
 の、業、ありん

西遊記 隆湊堂 梓

百字已

特 60
216





石洞即王
猿中猴位

西遊記

西遊記



靈泉山福祿壽洞天

西遊記

傲來国の海中華果山北
怪石破列衣し石卵を
産ら化し石猴を
あり眼を金色の
光を發上天を輝



千里眼

順耳風

き
ハ上
聖玉
帝天
上の室
殿あり
之を見即ち順耳
風千里眼をいへ見
傲來国の石猴をいへ怪む
みたるびとて捨置たまひたる

白鹿巴

五



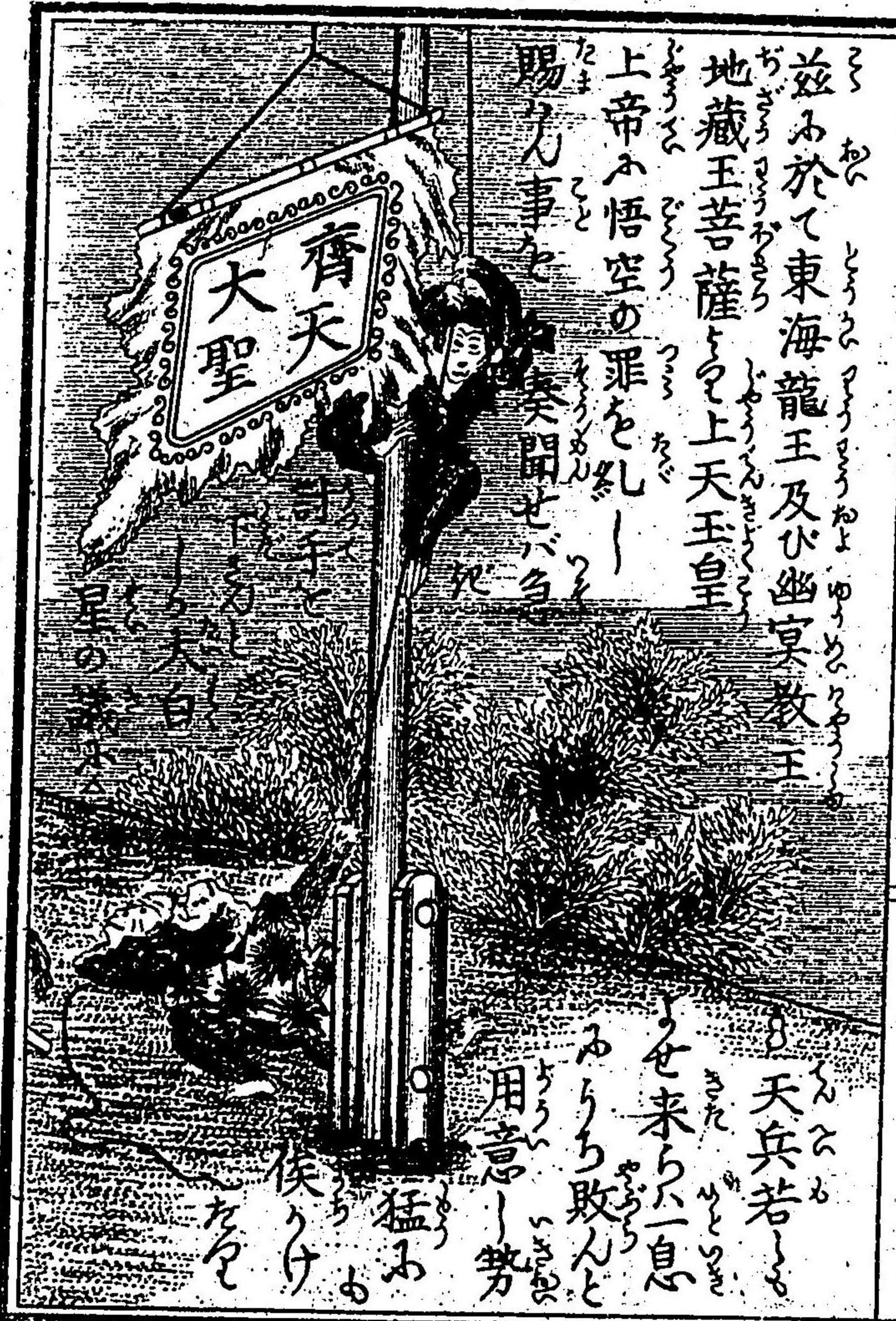


神仙ふ様々の術
 を學び孫悟空
 の姓名を貰ひ
 龍宮城へ趣き
 一万三千五百斤
 の鎖棒を
 甲冑

を奪ひ歸り又
 夢の幽冥界へ至
 り閻王の生死の
 簿子を請ひ
 我名を塗
 抹し歸り



龍王



茲み於て東海龍王及び幽冥教主
 地藏王菩薩とて上天玉皇
 上帝の悟空の罪を乞ふ
 賜ふ事とて奏聞せしが

天兵若も
 を来らば一息
 りち敗んと
 用意し勢
 猛ふ
 俟け



△即ち彼を勅使せし悟
 空を召し弼馬温の職を授
 く悟空二度は後め
 又の後ち賤官を
 憤り官を捨て帰て独角の
 鬼二人を
 先陣の大將ふ定大旗



是より天兵と
 屡戦のつぎ遂
 小太上老君の金
 鋼琢小頭を搦
 き倒せられバ真
 君生獲と
 師をよとめ
 て帰る
 あひ



乾
 巽震
 離
 兌坤の八卦爐中へ
 入る道人おきて焼せ四十九日を過て
 爐を閉て悟空ハ躍出如意棒を耳の内より出

百字已

八

難
 立たり



百... 巳

九

此處ハ太宗と三蔵と名を賜つて経を説くが為み出發せし
み坑坎に陥りし
クモバ妖邪出来
王の前へつこ
行たたり此時
熊山君特度士三人

魔王



集る處ありて
魔王ハ則ち
山猫の精

此處み來り三蔵
藏の從者を喰ひつ
大白星一人の老叟
とあり來りて三蔵
を救
ひ
乃
る
此
洞
嶽
山
嶺
と
号
す
虎
狼

百存巳







西遊記

十二



西遊記



妖怪猪悟能ハ烏斯藏国の高大公の
 女の婿とあり太公甚其奉勅
 苦行
 孫行者
 者彼
 至
 女の姿
 とたる



彼の妖精を
 追とらふ福陵
 山に迷ひしを
 追詰を三藏
 法師の前
 連來りし
 拜せしを
 三藏八戒
 其名と
 たまたり

巨

二





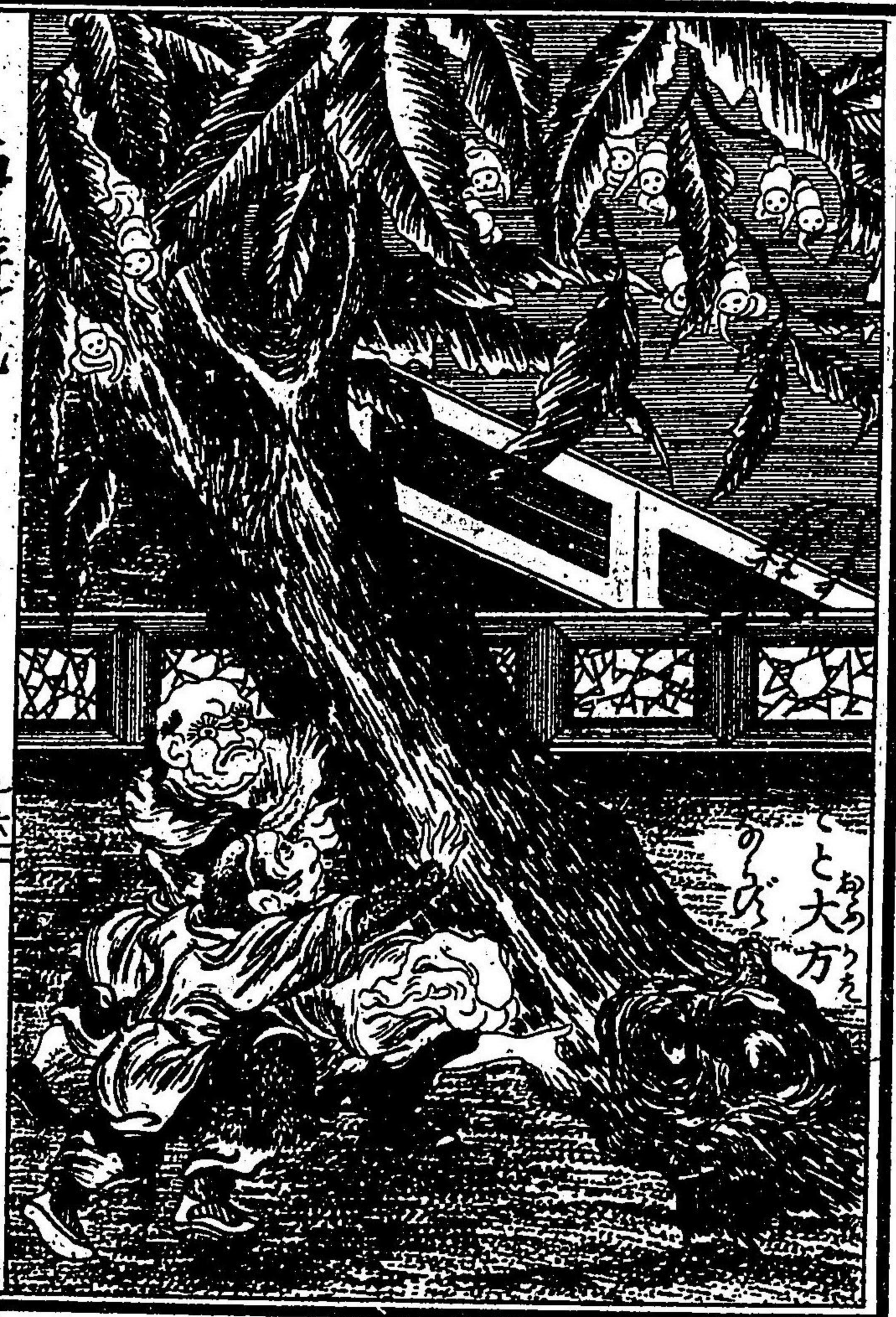
三藏万寿山小至五莊觀
 入ア一人参里
 悟空偷
 大仙憤
 師弟四人
 油を沸
 金煎
 せん



あせ
 悟空ハ
 石を我身
 身空の中
 其様を
 石の重
 金ハ破
 衆仙之が為不焼

五字

十五



と大の方



孫行者ハ蓬萊山ニ至リ福祿壽の
三星の樹を生ひの法を尋し其方
無きハ遂南海ニ飛行シ
觀世音ヲ見エ五莊觀ニ伴ヒ

三人參樹を

の法を授けり

藏

八戒
沙悟淨悦

觀世音

童子



孫悟空の
行を三藏ハ
怪し途ハ
遠く西へ去
孫行者ハ華
果山ハ
帰るる
小猿
数多

獵人



來り
獵人
等の
害を訴
山嶺上
石を
小

悟空

の來り
待ち
唱て吹散し
獵人共を退治



妖
怪
王
宮
入
り
宮
城
を
咬
碎
く
白
馬
宮
城
西
化
妖
怪
不

百
連
巳

十
八

近
死
兄
哥
舞
を
奏
し
間
を
見
し
投
ぎ
謀
り
白
馬



百
連
巳

妖
怪



外道銀角の
猪八戒を
土より既みん
又三蔵悟性
とて授へ蓮華
海に帰する此時
悟空六泰山厥頂の
法ありも護法
指帝の為不危難を
免く此霞光焰々たるを見

悟空



土地の山神
取身代
地

土地山神



西遊記

廿



孫行者
ハ牛魔
王
妖怪を
欺り彼を
屈み入る

孫行者



三藏の喰
道人や
けるを救ん
やせしが事破る
は金光と変じ
て洞
門を
逃
出で直不
落伽崖上

観音菩薩
不登り
難を
救れん
事を
請
師父の
妖怪

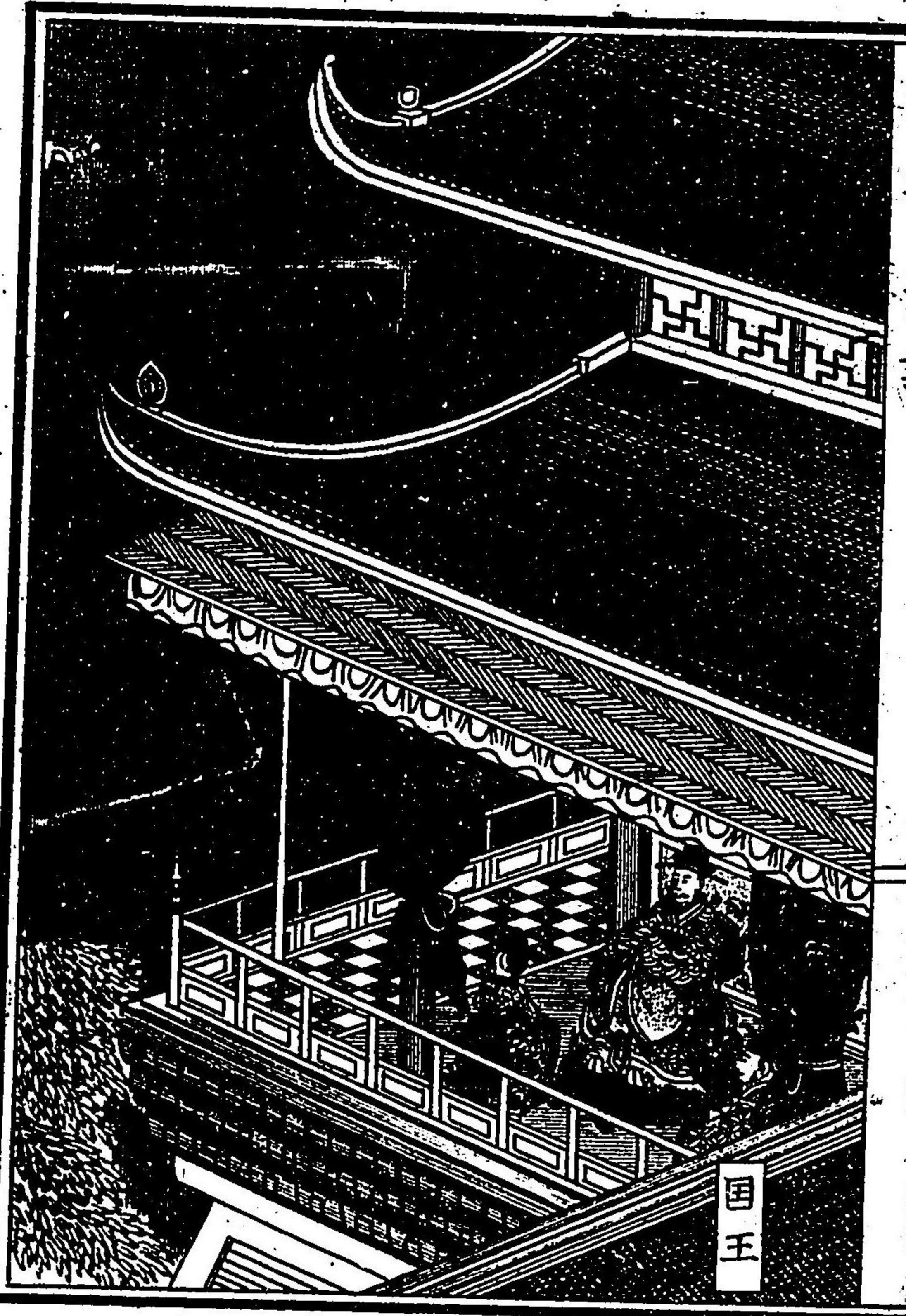
百
五
十

廿
三



者の
 忽ち大風雷雨起
 先不祈了虎力大仙大
 面目を失ひ

三藏



国王



三藏ハ飢餓及び
 悟空ハ齊と求
 走ヲ行シガ
 後みく三藏
 八戒 沙悟沙
 妖魔
 囚われ
 悟空ハ山神
 の告を得此の
 よしをある

孫行者



急地彼震
 走ヲ行ハ魔
 王ハ待
 跳り出
 行者ハ如音
 空中
 投トて
 数百の鍔俵
 ろしありたる

魔王

明治十八年十二月七日御届

定價二拾錢

編輯人

下田惣太郎



東京淺草區壽町四十二番地

隆湊堂

出版人

山本常次郎



東京淺草區壽町四十三番地

